

### 第3回 あまくさ創生実践会議 会議録（概略版）

日 時	平成27年7月22日（水）13:30～16:30
場 所	天草文化交流館 2階 展示室
出席者	別添名簿のとおり
議 題	(1) 前回会議録の承認について (2) 産業連関分析に見る戦略課題について (3) 事前課題の協議内容の発表 (4) 施策協議（しごと）について (5) その他
資 料	資料1：天草市産業連関分析 資料2：総合戦略「安定した雇用を創出する」 資料3：天草市総合戦略事業一覧 資料3-1：総合戦略に対する事業提案書（経済部） 資料3-2：総合戦略に対する事業提案書（観光文化部） 参考資料：「地域産業構造の見方、捉え方」、ハローワーク提供データ 等

#### 議題（1）前回会議録の承認について

会 長： 前回の議事録について、内容をご確認のうえ、何か不足等ある方は事務局にお伝えいただくこととしたい。ご意見はないか。

委 員： （特に意見なし）

#### 議題（2）産業連関分析に見る戦略課題について

公益財団法人地方経済総合研究所（以下「研究所」と言う。）より、資料1に基づき説明。

会 長： 説明いただいた内容について、質疑や気付いた点等について意見交換を行いたい。ご意見はないか。

委 員： 「コネクター」と「ハブ」という言葉が出てきたが、もう少し具体的にご説明いただけないか。

会 長： では、天草市で言えばどんな産業が「コネクター」や「ハブ」に該当するのかを交えて補足説明をお願いしたい。

そもそもそれぞれの単語の概念だが、資料1の7ページにあるように、「コネクター」とは「域内に引き寄せる力のあるもの」「外貨（天草外のお金）を獲得する力のあるもの」で、「ハブ」とは「域内の循環を促すもの」「お金を域内に留まらせて循環させることができる力のあるもの」を言う。

地域を潤わせるためには、外貨獲得（コネクター）と地域内でそのお金を循

環させること（ハブ）が両輪となり動くことが重要になる、という理解で間違いないか。

研究所： 間違いない。資料1の8ページをご覧ください。天草市で「コネクター」になっている産業（外貨を獲得できる産業）はというと、漁業、飲食業、宿泊業、水運などが当てはまる。我々の業界ではこれらを「移輸出」と表現する。

また、「ハブ」になり得るのは「食料品」と言える。食料品は赤字産業であるが、天草で生産された加工食品などが、「コネクター」である飲食店や宿泊業で扱われるようになれば、コネクターが獲得した外貨が食料品に回り、域内循環を生み出すと考えられる。

会長： 今ご紹介いただいた「コネクター」、「ハブ」はあくまで一例である。みなさんの関わる業界で、これから何が「コネクター」や「ハブ」になるのかを議論していただきたい。ほかにご意見はないか。

委員： （特に意見なし）

会長： では、本日の資料について先に進めていく。事務局から提示のあったハローワーク提供の参考資料などについて、ポイントとなる箇所について事務局から説明をお願いします。

事務局： お手元の参考資料（しごと—1）の「天草市男女年齢別就業率」をご覧ください。天草市の女性の就業率については、20歳から34歳までは全て国・県の平均を超えているが、35歳から39歳まででは一旦低下して県平均ほどになっている。その後はまた上昇し、国・県の平均を上回っている状況である。

次に、参考資料（しごと—2）の「天草市観光客の推移」をご覧ください。平成19年までは270万人台ほどを推移し、平成20年に一度260万人台に下がりますが、その後また上昇に転じ、現在は290万人台まで回復している現状である。

次に、ハローワークの参考資料（ハローワーク4）をご覧ください。2枚目の「職業別常用新規求人数・充足数」及び3枚目にある「職種別常用求人・求職バランスシート」をご覧ください。先にご意見にもありました“求人と求職者のミスマッチ”が実際に生じていることが確認できる。

ほか、資料をご覧ください参考にしていただきたい。

以上のやりとり後、議題2は終了。

### **議題（3）事前課題の協議内容の発表**

会長： 事前課題ということで、事務局から「しごと」についての協議事項<sup>※1</sup>を3点ほど出されていたと思う。これについて、事前に協議をしてきた3団体の委員については、その要点について発表をお願いします。

委員①： 事前協議事項の1として、波及効果のある仕事を創るためには、農林水産業の更なる振興、特に水産業については6次産業化の推進を図ることが重要と考える。

また、ミスマッチを減らすためには、地元高校生などを主体としたインターンシップ制度を構築することで、新卒者の島外流出防止やIターン者などの雇

用が期待できると考える。また、例えば新卒者の募集についてだが、天草島内の募集時期が遅いというご意見もあったので、その時期を早めるなどの対応をすることが就職希望者の安定確保に繋がるのではないかとご意見も出た。

次に、働き続けられるようにするにはどうするのかという点だが、一番は安定・継続した報酬（給与）制度の確立があげられる。特に、一次産業については自然が相手の仕事ということで比較的収入が不安定であるが、これを6次産業化の推進により安定した収益確保に繋げていけるようにすることが重要であるとする。ほかにも、若年層やIターン者などへの住居の提供も必要とのご意見も出た。

最後に、すでに取り組みをしつつも、現状で悩ましい点を整理したものを挙げると、ビジネスマッチングがある。当行においても非常に重要事項として取り組んでいるところではあるが、大手バイヤーが主体となっているため求められる条件のハードルが高く、なかなかマッチングに繋がらない現状がある。

会 長： コネクターハブに近い話だと思われる。天草市としてこれらをどう特色化していくか、事務局やシンクタンク等とで詰めていただければと思う。

では、次の方、発表をお願いします。

委員②： 前回会議後から団体全体で集まって協議する時間を設けることができなかつたため、私の所属する委員会でご協議したものを発表させていただく。

まずは、波及効果のある仕事を創るにはどうするのだが、給料水準の高い仕事を起業したり誘致したりするのは土地柄的に困難であると考えられるので、天草の強みである第一次産業、特に水産業における養殖業を重点化し、生産力とブランド力を高め、加工業などと連携し付加価値を高めることが、外貨を稼ぐことに繋がると考える。

また、本同友会において取り組むエネルギー産業が動き出しているもので、そういった分野に重点化して取り組むことで、島外へのお金の流出を防ぎ、外貨を稼ぎ島内でお金が循環するサイクルを創り出すことも有効だと考えている。

また、これまで大学誘致といったご意見もあったが、大学そのものを誘致するのは現実味に欠けるが、水産系の大学の研究所などの誘致であれば有益だと思う。そして、天草での最高学府である「高校」の再編を行うことで、今天草で実際に必要な人財を育てる学科（たとえば、保育科や水産科、看護科など）を設置することで、即戦力になる人材育成に取り組んでいけば、島内での人材確保も行いやすくなり、ミスマッチ解消に繋がるのではないかと考える。

次に、働き続けられるようにするにはどうするのだが、働き続けられない原因が結婚や出産であれば、困っている女性の声を吸い上げ、改善に反映できる仕組みづくりを行うことが必要だと思うし、また、子どもたちの「働く」ということに対する教育の実施や、海外の取組事例である「ベーシックインカム<sup>※3</sup>」を試行してみるのはいかがでしょうかというご意見も出た。

最後に、現状において悩ましい点だが、求人しても人が集まらない、採用しても長続きしないことである。簡単に楽しんで短い時間でお金を稼ぎたいという人が多いので、募集しても集まらないという現状があるのではないかと感じている。なので、給料は一所懸命働いてこそいただけるものだというのをきち

んと教育する機会が必要ではないかと思う。

また、せっかく起業したいと思っても、天草は土地が少なく地代も高いため、マッチングが難しい状況がある。もう少しこの部分を緩和してもらえたらと思うので、こういった部分に力を入れていただければと思う。

会 長： では、続きまして肥後銀行さんに発表をお願いします。

委員③： 私なりに、いただいた資料を参考にした数値の分析とそれに対する私見を述べさせていただきます。なお、資料として、「市町村内総生産 実数の特化係数」「米国におけるCCRC<sup>※2</sup>の概要」を使って意見を述べさせていただきます。

天草市の平成24年度のGDPは約2,100億円。その中で、医療・福祉を含むサービスが約544億円で26%も占めている。一方で、直近3ヶ月の産業別の求人数は、医療・福祉は522人に対し、充足率は35%に留まっている。また、ハローワークさんの資料を拝見すると、天草市の女性の非婚化・晩婚化が目立つ状況にあることが分かる。一方で、25歳～29歳層の方の就業率は高いという分析ができる。

これらの分析結果をもとに、女性が働きやすい職場にするにはどうしたらいいかという視点から協議事項について意見を述べさせていただきます。まず1点目の「しごと」をそもそもどうするかだが、天草市のGDPで大きなシェアを占める医療・福祉分野にどうして人員を確保できないのかを議論することは大事なことだと考える。

2点目の働き方についてだが、女性の両立支援の視点から、どうしたらこの層で働く方を多く確保できるかを考えていくべきではないかと考える。

最後に、戦略をどうするかだが、天草は療養型の病院や介護施設が多く存在するので、そういうものをCCRCとリンクさせることも理論によっては可能なのかなと思う。そうすることで、雇用の確保、まちに人を呼び込むことも可能になってくると思うので、そういう観点からも議論するといいいのではないかと考える。

会 長： CCRCの話は、国の地方創生のキーワードでもあるので、天草でもそれについて考えることで、国との連携事業もしやすいかもしれない。

高齢者は介護の必要な人ばかりではなく元気な方もいらっしゃる。その方々が入ってくることで新しい人の流れを作り出すという意味からのCCRCの観点もあるのかなと思う。

以上の意見やりとり後、議題3は終了。

※1) 次の3点を協議事項とし、各委員の属する団体・分野にて事前協議を依頼していたもの。

- 1 「しごと」をどうするのか（①波及効果のある仕事を創るには。②ミスマッチを減らすには。）
- 2 働き方について（働き続けられるようにするにはどうするか。）
- 3 戦略をどうするか（今すでにやっていること、現状で悩ましいことは何か）

※2) 米国では、高齢者が移り住み、健康時から介護・医療が必要となる時期まで継続的なケアや生活支援サービス等を受けながら生涯学習や社会活動等に参加するような共同体（CCRC：Continuing

Care Retirement Community) が約 2, 000 箇所存在している (推定居住者: 75 万人) [当日配布資料より抜粋]。

- ※3) 就労や資産の有無にかかわらず、すべての個人に対して生活に最低限必要な所得を無条件に給付するという社会政策の構想。[参考: 知恵蔵2015]

#### **議題 (4) 施策協議 (しごと) について**

3 グループに分かれて「しごと」について協議を行った。各グループの協議結果については以下のとおり。

グループ①: 外貨を稼ぐという観点から、「客単価」をいかにあげるかを論点に話をした。結論としては、売り手側でなく、買い手側のニーズに合わせた販売展開などが必要ということになった。

また、販売する際には「これこそ天草のもの」「天草にこだわったもの」ということがきちんと伝わる『見せ方』をすることで、客単価をあげることに繋がるのではないかという意見もあった。加えて、天草に住む我々が、どれだけ天草にもものにこだわっているか、そしてそれを『分かりやすく伝えること』(商品説明、値段、販売場所など)も重要なポイントになると思し、天草ブランドを作るのは、「誰かがやる」のではなく「みんなでやる」ということが非常に大事だと思う。

グループ②: 天草に住んでいる人は、案外天草の魅力に気づいていない面があるのではないだろうかと思う。天草は自然豊かで、人も温かい方が多く、子育て面からも老後の生活面からもとても魅力的な地域であることを、まずは天草に住んでいる人自身が気づき、発信していくことが大事だと思う。

また、教育面から言うと、高校進学の際に天草市内から市外へ3割が出て行ってしまっている現状がある。これをお金に換算すると、約5億円の流出になると試算している。天草高校は、高校入学時と卒業時における成績の伸び率は、おそらく県下で1位、2位を争うほどにある。このような学校が天草にあることをPRし、天草に残ってもらえるようにすることも大事だと考える。また、女性の働きやすい環境を整えることなども大事だという意見もあった。

グループ③: 波及効果のある「しごと」について、外貨を稼ぐという観点から、観光客の誘致が有効だと考える。クルーズ船や世界遺産、サンタクロースなどに絡めて、近隣アジア地域にターゲットを絞ってはどうかという意見がでた。

また、水産業についても6次化を進めてブランド化して外貨を稼ぐという話と、小規模事業者の販路開拓についても力を入れたらどうかという話になった。

金融機関の視点から見た天草の伸び代のある産業は何か伺うと、観光、農業、医療というお答えであった。観光については、天草は「リゾート地」という感覚があるので、リゾート感のある施設ができないかとか、農業についても、良質な物は多いので、地元で調達できる流れを考えたらいいのではな

いかというご意見もあった。

また、教育にも関連するが、北海道の音威子府村で、陶芸を専門とする学科を作ったところ、全国から生徒が集まり、その一部についてはその地に定着しているとのことで、こういった例も天草に当てはまるのではないかという話題もあった。また、淡路島のチャレンジファーム<sup>※4</sup>の例では、新規就農者等を地域活性化のリーダーに育成することにもつながっており、約7割が地元に残っているという話もあった。これらの例は、地方創生を考える天草でも参考になると考える。

総じて言うと、波及効果のあるしごとを作るという点では、外貨を稼ぐということと域内循環をよくする仕事に重点的に施策を打ったらどうか。

また、ミスマッチを減らそうという点については、医療関係のミスマッチが大きいという話があったが、求職者の希望する勤務時間帯や、求人側が求める経験値があると思う。それを解決するためには、新人を訓練する医療機関を設置する必要があるのではという意見や、地方版CCRCについては、天草市民もそれ以外の方も住みやすい地域を作るという点からもCCRCを検討してみてもどうかという意見があった。

※4) チャレンジファームは、株式会社パソナ農援隊が、新規に独立就農もしくは農業分野での起業を目指す人材を育成する「農業ベンチャー支援事業」として2008年から取り組むもので、参加者はチャレンジファームで農業に従事しながら、栽培技術だけでなく農業経営や地域の活性化などを学ぶ。

## **議題（5）その他**

### ①次回開催日程について

会 長： 次回の開催日程について事務局から説明を。

事務局： 次回を8月28日（金）、第5回を10月20日（火）に予定している。

### ②今後の会議の流れなどについて

会 長： 今後、どのような流れで進めていくか補足する。

今後、お手持ちの資料の『天草市まち・ひと・しごと「人口ビジョン」と「総合戦略」の全体像（案）』にある緑色・オレンジの網掛け箇所<sup>※1</sup>に入る可能性があることを皆さんから意見を出してもらったりしながら書き出して埋めていくことを目指していく（ただし、これは皆さんで議論するためのたたき台のようなものをイメージしている。）。

そのために、委員の皆さんにやっていただくこととして2点ある。

1点目は、今日の会議終了後1週間ほどの間に、ご自身、団体等でお考えのことがあれば、意見をまとめて事務局に提出いただきたい。

2点目は、今後事務局から連絡のある課題等について取り組んでいただきたい。

### ③次回のテーマ、事前課題について

会 長： 次回は、2つのことをテーマに議論を進めたいと考えている。

1点目は、『「しごと」と「ひと」の好循環』の整理、2点目は、『若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる』という論点の議論である。

これに向け皆さんにお考えいただきたいのが、一つは、この天草で『若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる』ために必要なことは何なのかを考えていただくとともに、その必要なものを漠然と挙げるのではなく、根拠となるデータも併せて示していただきたい。

なお、それを考える際には、『「しごと」と「ひと」の好循環』という観点も押さえる必要があり、たとえば、2人目、3人目の子どもを産みたいけれども「働き方」がそれをかなえられる体制になっていないということがあるのではないかとか、あるいは、仕事とプライベートのバランスが上手くとれず結婚しづらくなっているのではないかとか、そういった視点も踏まえて考えていただきたい。

二つ目は、すでに「働き方にこういう工夫を取り入れている」、もしくは「こういうことをしたいと思っている」など意見があれば出していただきたい。

また、みんなで（大きな規模で）やらなければ成しえないこともあると言える。例えば、最たる例を上げるとクールビズがある。日本中で夏はネクタイを外そう、という動きがでたから成しえることができた。

これを『若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる』に当てはめて考えると、あくまで例示で言うだけだが、子どもとの会話の時間をつくれるように「残業する必要があるときでも、勤務終了後は一旦家に帰ってから、また仕事にでる」というのを天草ルールにすれば、ワークライフバランスが保てるようになるのではないかと、という取組みもできるかもしれない。このような観点から皆さんからもご意見を出してもらえればと思う。

(以上)

(別紙)

## あまくさ創生実践会議 委員名簿

H27.7.22 現在(順不同)

		所属	役職	氏名	備考
1	会長	慶應義塾大学	教授	タムムラ マサトシ 玉村 雅敏	
2	副会長	天草市まちづくり協議会連絡会	会長	ナカガワ タケハル 中川 竹治	
3	委員	本渡五和農業協同組合	代表理事常務	ユ スキ アキオ 湯貫 秋男	
4	委員	あまくさ農業協同組合 指導販売部	果樹園芸課長	ゴトウ ノブユキ 五嶋 伸幸	
5	委員	天草地域森林組合	代表理事専務	カワチ コウイチ 河内 公一	欠席
6	委員	天草漁業協同組合	総務課長	ウエダ コウイチロウ 植田 弘一郎	欠席
7	委員	(一社)天草宝島観光協会	事務局長	イワミ リュウジロウ 岩見 龍二郎	
8	委員	天草市起業創業・中小企業支援センター	センター長	ノマ ヒデキ 野間 英樹	
9	委員	天草経済開発同友会	委員長	ヤマモト ヒロシ 山本 博	
10	委員	(一社)天草本渡青年会議所	副理事長	カミ タケシ 上 剛司	
11	委員	牛深青年会議所	理事長	オカベ ノブヒロ 岡部 伸大	欠席
12	委員	本渡商工会議所	事務局長	ホリタ ショウジ 堀田 照二	欠席
13	委員	牛深商工会議所	常議員	エザキ タカシ 江崎 孝	欠席
14	委員	天草市商工会	経営指導員	マツモト トシユキ 松本 利幸	欠席
15	委員	天草市保育所連盟	会長	スサキ トヨヒロ 洲崎 豊裕	
16	委員	天草市県立学校長会	代表	マエダ ミチハル 前田 三千治	
17	委員	連合熊本天草宇城上益城 地域協議会天草地区連絡会	幹事	ミヤザキ エイジ 宮崎 英治	
18	委員	天草市社会福祉協議会	本渡支所長	ハスイケ ミチヨ 蓮池 美智代	
19	委員	NPO法人子育てネットワークわ・わ・わ	理事長	サワダ フクミ 澤田 福美	
20	委員	天草お産路	代表	ナカバヤシ マドカ 中林 円	
21	委員	肥後銀行 天草支店	支店長	ヨコセ ヒデオ 横瀬 英夫	
22	委員	熊本銀行 天草支店	支店長	イチグチ カツヤ 一口 勝也	
23	委員	天草信用金庫 融資部	審査上席専任役	ワタナベ カズナリ 渡邊 一成	
24	委員	天草広域本部	総務部長	ハジメ キミオ 一 喜美男	
25	委員	天草市地域振興部地域政策課	課長	スガワラ ヒロアキ 菅原 弘晃	欠席
26	委員	天草市健康福祉部健康福祉政策課	課長	イセ ザキ ユウキ 伊勢崎 裕樹	
27	委員	天草市経済部産業政策課	課長	オオタ ヤスト 大田 安人	
28	委員	天草市観光文化部観光振興課	課長	ワタナベ ヒデト 渡邊 英人	
29	委員	天草市教育部教育総務課	課長	ヤマナ スナオ 山名 直	
		天草市総合政策部	部長	カネコ マサヒデ 金子 正秀	
	事務局	天草市総合政策部政策企画課	課長	シオサキ トシヒコ 塩先 敏彦	
	事務局	天草市総合政策部政策企画課	係長	ヒラヤマ タカヒロ 平山 高広	
	事務局	天草市総合政策部政策企画課	参事	カドグチ トオル 門口 徹	
	事務局	天草市総合政策部政策企画課	主査	ムカエダ マサタカ 向田 正隆	
	事務局	天草市総合政策部政策企画課	主査	ナカガワ ジュンコ 中川 淳子	